

平成 21 年 十七音・スピニアウト

+

+

はじめに

+ + +

十七音を過去から現代へと追いかけてくると
平成 21 年という年に「スピン・アウト」と
姿を変身させていることに気づきます

そこで

2009 年(平成 21 年)十七音・スピニアウト

という別篇を作ることにしました

どんな心境の変化があったのかは
他の日記を読まないと掘り起こせません

さて

揺れ動いた一年のようです

わはく

2009 年(平成 21 年)十七音・スピニアウト (五月)

忘れ音・ 十七音

- Walk Don't Run - のほうのブログに「十七音」を作っているので、コチラでは「十七音(スピン・アウト)」という名前にします。

あちらには書けないことをコチラに。

コチラに書けないことは、あちらに。

お互いに微妙な私の気持ちで、二つを使い分けてみようかと思います。

Tags:追憶 はじまり

| 2009-05-18 23:01 | 十七音(スピン・アウト) |

その昔、夜更かしをした恋煩い

どうしてそんなに、夜更かしなんかしてるの？
珍しいじゃない。十年ぶりかもよ。

そうだね、その昔、夜更かしをしたころを思い出すよ。
恋煩いだったのかもしれないね。
夜空ばっかし見てたもん。

今夜、まだ寝ないの？

うん、2,3日前にある人からメールが届いた時刻が今頃だったんだ。
もう、そろそろ、寝ようかなと思ってる。

メール。届くといいね。

いいや。別にいいよ。
久し振りに、夜更かしを楽しめたし。

| 2009-05-20 00:46 | 十七音(スピン・アウト) |

イジワルね、傍にいててもメールだけ

ほんとはイジワルだなんて、
これっぽっちも思っていないから。

でも
傍にいるのに
逢えないのは切ない。

会いたいなんて
言い出せるような人じゃないんです。
そういう間柄ですから。

昔、東京都内で、ひとり、友だちがいた。
環七をとばせば 30 分ほどで行けただろう。

でも
手紙しか出し合わない仲だった。
手紙はダンボールにいっぱいになるほど交わした。

私が東京を離れるときに
新宿で、
二度目に会って、
それが最後だった。

Tags: 追憶

| 2009-05-22 21:21 | 十七音(スピン・アウト)

見せパンの赤鮮やかに蘇えり

その人と、少し海岸を散歩しました。

前を歩くので、自然にお尻に眼が行きますが
それほど、可愛いお尻でも、魅惑のスタイルでもないのですけど

ジーンズのベルトのところに赤白の縞縞のパンツがチラチラと見えるの。

「あら、ファスナー閉め忘れ？」
と尋ねたら

「見せパンです。心配なく」
という返事が返ってきました。

ちっこいお尻に、赤いパンツが、とても可愛かったなあ。

| 2009-05-22 21:29 | 十七音(スピン・アウト)

おすそ分け、ってメール来たの、ウレシイ

るんるん (死語)



Tags: ときどき

| 2009-05-23 21:29 | 十七音(スピン・アウト)

逢いたくて彼方の山を見つめてる

風は、夏色。

五月雨に少し沈んでも、五月晴れともいうじゃない。

キミは話してくれたね。

「私、風が見えるわ」

って。

そうだね。

キミの髪が優しく揺れる。

銀のピアスがきらりと光る。

引き潮の凪いでいる海を、眼を細めて見つめるキミの横顔。

五月の海の贈り物かもしれない。

| 2009-05-23 21:43 | 十七音(スピン・アウト)

うつむいて季節はずれの寺の道

雨。

追憶でも、
眩きでも
幻想でも。

センチメンタルで
ロマンチック。

憎悪
不信
戯れ

自己嫌悪
気障

愛
温もり
冷酷。

数々の、
ドラマのような日常が
消えていった....

雨にまつわる
あれこれを
書いてみるか。

タイトルは、【鶴さん】シリーズから。

Tags:追憶 見つめる

| 2009-05-25 07:55 | 十七音(スピン・アウト)|

桑の実の酸っぱうまいか、片思い

メールが届いたの。

桑の実酸っぱうまいですね。

おかあは好きなくせに毎回「見た目が虫っぽい」といいながら食べています。

私が桑の実のことを書いたメールのすぐあとに
写真も付けて、くれました。

唇も歯も

紫色に染めて

実をほおばる君たち親子。

私は、ああ、永遠の片思いだな。

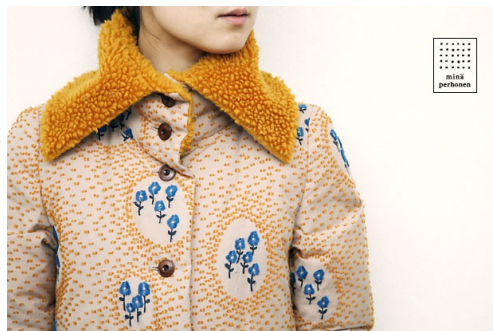


| 2009-05-26 22:05 | 十七音(スピン・アウト)|

2009 年(平成 21 年)十七音・スピニアウト (六月)

好きだよと傘に隠れた人という

傘に隠れたあなたの髪に
触れて優しく揺れるピアス
ちょっと駆け足、震える指で
軽くピースを流してく
君が好きだけど
それだけは
言っちゃイケナイ



Tags:ハート

| 2009-06-05 18:43 | 十七音(スピン・アウト)|

明日引き潮を見に行こう

女は悪女になれていいなあ。
男は何になればいいんだ、こんな夜・・・
わからんやろうな。
男心。

| 2009-06-06 21:57 | 十七音(スピン・アウト) |

猫のように、君は悪女になってくれ

(壊れる)

猫のように、君は悪女になってくれ。
僕は猫の友だちが一匹増えたと思うことにするから。

| 2009-06-07 07:53 | 十七音(スピン・アウト)|

ねえ言葉などいらなくて。傍にいて

時間を止めて
二人で朝まで過ごしたい。



Tags: ハート

| 2009-06-07 20:17 | 十七音(スピン・アウト)|

水割りに氷を足して黙り込む

時には無口になったらどうよ。

黙ったところで、夜は長いよ。

(やっぱりね、困ったオヤジね)

| 2009-06-08 20:55 | 十七音(スピン・アウト)|

梅雨入りと日記に書いてペンを置く

メールが来ないので
ちょっと
色んな心配をしてしまうけど
とにかく
おやすみだけ
言わせておくれ。

| 2009-06-09 23:28 | 十七音(スピン・アウト)|

口笛で、声には出さず好きと言う

おはよう
何して過ごしてますか？

タイトルのような
妄想ドラマシーンを
作ってみたりしながら
現実に引き戻る。

--

鬼。の雑記。
鬼は外、好きなあなたに豆投げる
じゃんけんポン、鬼さんこちら、チュウしておくれ
夕時雨可愛い鬼さん手の鳴る方へ
節分や豆の数だけエロクなる
腕組んで鬼さんこちら夜の街

2009 年 02 月 04 日

そう
節分のあくる日に
こんなメモを残してる、僕。
このころは
今だから正直にいえませんが
あなたに、恋してました(赤面)

今は
もう大丈夫。

| 2009-06-11 11:05 | 十七音(スピン・アウト)|

あじさいに真っ赤な嘘は似合わない

あじさいに真っ赤な嘘は似合わない (太田好子)
と日記に書いたけど

想いは、そんなに募らせたらあかんのんよ。
さらっと、流して。

また必要になったら、手繰り寄せたらええのんか？

そう
会いたいわあー
なんていうたらあかん。

ふーん
「あいたくなんかないわあ」
(真っ赤なうそやな)

やっぱし
あじさいに真っ赤な嘘は似合わない
うふふ。

| 2009-06-11 11:19 | 十七音(スピン・アウト) |

ひとりごと、飛行機雲を千切り棄て

--

ねえ

あの

ひこうき雲

あの子のところからも

見えてるのでしょうか...

| 2009-06-15 13:00 | 十七音(スピン・アウト)|

紫陽花や雨音染みて霞む夢

6月6日に手紙を書いている。

去年の11月9日と10日にこのふたつのメモを残しているのよ。

今視線そらして気持ち動いてる

嘯(うそぶ)いて揺れるピアスを狙い撃ち

+

あのころはもっと純粋で、綺麗な視線であなたを見ていたなあ。

きょうはあなたがとても遠い人のように思えてきてあかんわ。

水割り2杯しか飲んでいないのに...

紫陽花や雨音染みて霞む夢

| 2009-06-19 06:14 | 十七音(スピン・アウト)|

大粒の雨、窓越しに枇杷をみる

(Mさんからメールがあつて)

先輩から届いたという青力エルの写メを、おすそ分けに送ってくれた。

素敵な力エル色をありがとうと返事したあとに

みずたまり、ぴょんと貴方にひとつ跳び

雨雲は太平洋へ行ってしまったよ。晴れるといいね。

って書き添えておいた。

大粒の雨、窓越しに枇杷をみる

そんな風情の雨ですけど

雨あがり。

蒸し暑い。

ああ、

そうめん食べたい。



| 2009-06-24 11:42 | 十七音(スピン・アウト)|

でも、ちょっと...ちょっとだけキザになる

「でも、ちょっとだけ、さびしい時もあるの」
と書いてた或る人に宛てて書いたコメントから

淋しいという字に、人はいないんだよねえー
って言った奴。

憎らしいけど、今頃何処にいるのやら。

さみしいときは、とことんひとり、がいい。

(先日の、私のメール送信記録から)

さっき、教育実習から帰ってくる娘を

学校近くまで自転車で迎えに行って

少し待ちぼうけしたときに

中部国際空港から飛び立ったジェット機の尾翼灯が点滅して見えた。

「彼方へ飛んでゆきたい。

君も連れて行きたい」

そんなセルフが浮かんだね。

キザになって

独りで飲んで

ふーっと

一息つくと

寂しいこともあるさ。

「今夜は好きだと言わせておくれ」

(わあー、キザ)

(アホ)



Tags: ハート

| 2009-06-25 10:13 | 十七音(スピン・アウト)|

思い出は何に包んで棄てましょか

あっという間に終わった五月、六月。

いい思い出も、
悪い思い出も。

何だか、今年の六月だけはすべてをサラリと棄てたいな。

そんな気分。

ほらまた、
私が恋をしているからだって
チクリと責める人がいるんじゃない？

いいよ
幾らでも責めて、おくなされ。

過去なんていつものプチッで消えちゃうの

| 2009-06-28 12:00 | 十七音(スピン・アウト) |

恋心プチッと手品で花にする

(君の前で)

恋心プチッと手品で花にする

そのあと背中に隠してしまう

| 2009-06-30 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

2009 年(平成 21 年)十七音・スピニアウト (七月)

やまぬ雨、あなたは何処で濡れるやら

さて、
夕方から雨が降り出して、折りたたみじゃちょっと小さすぎるな。
通勤用のカバンが濡れてしまう。

やまぬ雨、あなたは何処で濡れるやら ねこ

もしも僕が君で映画を撮るならば
土砂降りの雨で、
濡れネズミになった君が
べそをかきながらも、
意地を張って顎を引いたまま
こっちを睨みつけるようなシーンで
オープニングのタイトルを差し込みたいな。

濡れた髪。
雫立つうなじ。

| 2009-07-04 06:56 | 十七音(スピン・アウト) |

おやすみのつぶやき何処かへ届けよう

寝る前に

ふと

おやすみのつぶやき何処かへ届けよう

と、思い浮かんだ。

友だちに、これだけ書いてメールした。

大好きな人たちへ。

| 2009-07-04 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

ラブレター書いたけどでも出せなくて

ちっとも可愛くないオンナだけど
ちょこっと好きなあなたへ
市内のメインストリートのアーケードに
七夕飾りが出ていたなあ。
ええ季節ですね。

何か
お祈りしますか??
京都は、祇園祭ですわ。
暑い夏。
思い出、
いろいろ
喜びも
悲しみも。

--

このごろ
ちょっと
あなたという人が
見えてきたみたいで
嬉しいの。

でも
その逆もあって
沈むこともあるの。
慣れたから平気。

さっき
メールが来る前に
プチッと
クリックしといたよ。

--

恋でもなく
愛でもなく
ラブでもなく
セックスでも
エロでもない。
可愛くもないし
美人でもない。

魅惑があるわけでもない。

話題も合わない。

僕は何をこだわって
いるんだろう。

ラブレター書いたけどでも出せなくて

ほな

おやすみ

| 2009-07-05 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

満点の恋文だったとしても屑籠へ

僕ね

世界中を敵に回してまでも
一人の女と日本を逃げて
何処までも走り抜けよう

と、そう、考えたことがあったんだ。

あれは、
愚かだったね。
(愛していても、できないことがあるんだ)

今
100 点満点のラブレターが書けたとしても
それを届けても
屑籠に棄てられてしまうことはわかっているんだ。

でも
さ。
出したい人があるの。

| 2009-07-05 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

憎らしき、雲に隠れた満月の

って、
全然、憎くも無く、羨みもなく。

静かで涼しい夜の月を
寝床で横になって眺めていました。

冬の月は、空のてっぺんに居ますが
夏の月は、お隣さんの屋根の上に居る。

この
暢気さというか
昇ろうと言う気合の無さが、見てる方まで暢気にさせる。

七夕は十五夜お月さんみて眠る

| 2009-07-08 16:16 | 十七音(スピン・アウト)

蝉啼いて、妙に逢いたい日暮れどき

だから、すぐに好きだと言ってしまうんだろうね。

あほな奴だよ。

振り返ると、いろいろあってね。

あなたには、感謝してますよ。

素敵な人に出会えたと思います。

ちょっと駆け足でメールしすぎたかな。

そう思います。

好きなポイントを挙げれば何も無いのに

何故かしらんけど何処と無く好きなん！

ってそう思っています、あなたのこと。

「好き」ってなんやろ、とも思いますが。

(以下、いっぱい書いたけど、削除)

蝉啼いて、妙に逢いたい日暮れどき

| 2009-07-13 18:29 | 十七音(スピン・アウト) |

こんな夜はあなたを憎んで裏返す

「つぶやく・十七音」というコミュニティーをやっている。

そこへ書くのが先か

または

つぶろぐ@EXCITE に書くのが先かは、その時の気分次第だ。

こんな夜はあなたを憎んで裏返す

いったい何が起こったのか。

私の心にどんな変化があったのか。

それは 13 日の夜の一瞬のことで

今更、穿り出しても、見つからない。

| 2009-07-15 11:01 | 十七音(スピン・アウト) |

好きな人、心がちつとも覗けない

(一晩明けて)

好きな人、心がちつとも覗けない

と、嘆いている。

こんな私のつぶやく姿を見てか、それとも、つぶやきには関係なく、たまたま、偶然のタイミングか

ある方が

「純情。なくしたくないものを、なくさずにいる人なんだなあ」
と言ってくださった。

覗きたいのも私の欲望だが

知らんままでいるのも欲望かもしれない。

迷路のようだ。

| 2009-07-15 11:05 | 十七音(スピン・アウト)|

その人が目の前に出て微笑むの

(さらに、スピニアウトな眩きが続く)

その人が目の前に出て微笑むの

ほんとうは、目の前なんかに出てこない。

私は、そういうドラマを描けるようになってきたのだ。

ただし

微笑んでいる顔は、限られた人だ。

えくぼが好きらしい。

| 2009-07-15 11:08 | 十七音(スピン・アウト) |

魚食うて、あなたの入り江を思い出す

もう一度
あなたの住む
小さな入り江に
行きたいな

ふと
そう思ったわ

| 2009-07-25 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

夕立に手をつなぎ濡れてゆきたい

スゴイでっかいスイカを実家で貰って来ました。
お茄子とトマトもいっぱい成っていたのでもいできた。
京ナスもあったので、田楽味噌でも作って食べようか。

夕立が洗っていった茄子をもぐ 種田山頭火
まさにそんな夕方やったなあ。
今日もいい1日でありますように(祈)
| 2009-07-26 06:39 | 十七音(スピン・アウト) |

五十肩ささやかに反発し

子どものころには、夕方になると縁側の先に縁台を出して、蚊取り線香を焚いてもらって夕涼みをしたものでした。

7月から8月になると、あららという感じで日暮れが早くなってきます。昼間の暑さはピークを迎えているものの、お盆を過ぎれば何とかかなると思っていました。

(それは、学校の宿題の話ではなく、暑さしのぎの話です)

大の字に寝て涼しさよ淋しさよ 一茶

今年は、電気製品を買い換えましょうのノリで市場が活気付いているようなので、私は、五十肩ささやかに反発し、というひねくれ根性でエアコン無しの暮らしに突入しております。

環境活動をしている横繋がりの皆さんのなかには、この暑さの中でも自動車のエアコンを使わずに頑張っている人もいます。

どうぞ皆さんも、畳の部屋を開け放ち、自然の風をお楽しみください。

| 2009-07-31 10:47 | 十七音(スピン・アウト)|

羊羹を切ってあなたと縁を切る

羊羹を切ってあなたと縁を切る

久々の会心の作品やなあ。

(と思わん？)

* * *

--- 私、あなたがプリンとアイスとチョコの合体したパフェが大好きだって知らなかったのよ。

--- まあね、甘いのが好きだから。

羊羹もウイスキーも好きだよ。キミも。

--- でも、今夜が最後ね。

--- まあね。

(とても冷めたい羊羹を切りながら)

--- そうね、羊羹を切ってあなたと縁を切る なんてどう？

--- 今のきみは、羊羹を刻んであなたと縁を切る、になってるよ。

--- あなたを羊羹に見立ててバラバラにしてやるの。
だって、悔しいじゃない。

そんなことを

ぼんやり考えている。

あしたは雨らしい。

| 2009-07-31 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

2009 年(平成 21 年)十七音・スピニアウト (八月)

深呼吸、ふっと切なくキミ想う

いいえ
しばらく
忘れていたんだけどね
西加奈子の
きいろいゾウを
図書館で見つけて、
キミを思い出してしまったわ。

そうさ
しばらく
忘れていたのに
舌足らずな喋り口で
生きとるわ
なんて
格好よくないセリフを言おうとするキミを想った。

| 2009-08-05 21:47 | 十七音(スピン・アウト)|

夜の海、酔うて夢見る花火かな

昨日の夜の月は、よかったわ。
寝床に入って窓を開けるとほどよい高さにいたのよ。
秋の月ほど、染みてこないね。
今夜はあの人の住む街でも花火大会や。
出かけるとも出かけないとも便りはないけど
何してるんやろ。
いまごろ。

--

夜の海、酔うて夢見る花火かな

| 2009-08-08 22:13 | 十七音(スピン・アウト) |

ひとことを飲み込んで、見せる猫の顔

ひとことを飲み込んで、見せる猫の顔

今夜、街では花火が上がるの。
大好きなあの人も出かけてゆくのかな。

私には何も知らせないで
今頃、どこで、何してるのやろか。

かき氷食べてお腹が痛くなればいいさ。
そしたら、僕は
猫になって添い寝してやるよ。

猫になりたいね。
抱かれるのではなく
添い寝でいいわ。

| 2009-08-08 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

もとおり、戻せないから爪を噛む

もとおり……か。

*

もとおり、戻せないから爪を噛む

| 2009-08-09 19:05 | 十七音(スピン・アウト)|

今ここに届けたい言葉、ひとつある

．．．．．

「大好き」

けさ、朝焼け綺麗でした。
あなたにも見せたかった。

| 2009-08-12 11:20 | 十七音(スピン・アウト)|

恋文や夕焼け小焼けでうふふのふ

夕日の綺麗な帰り道。

恋する人を思いながら、
できれば二人で空を見ていたいものだと思った。

でも、そんな叶わぬ夢はもういいや。
そんな気も少しはあった。

恋する君に会いたいな。
もしも会ったら、白々しく握手をする素振りで抱き寄せて
きっと抱きしめてしまうだろうな。

欲しくて小さい君は粉々になってしまうよ。
いいよ。
拾い集めて持って帰るから。

いつも恋している僕は、老人になっても、ボケることなく元気を保てるのだそうです。

日記やめて
少し書き込むのをやめて

少しは
白い紙とペンとを持って
空を見上げてみるのもいいものです。

恋文や夕焼け小焼けでうふふのふ ねこ

| 2009-08-17 21:22 | 十七音(スピン・アウト)|

帰り際いつもあなたに言いそびれ

帰り際いつもあなたに言いそびれ

私が思いつくのはこの程度の十七音である。
そのあとで、GREEの友だちのPさんが日記で

かの時に言いそびれたる
大切な言葉は今も
胸にのこれど
(石川啄木)

を引用していたのを知る。

「言いそびれ」というありふれた言葉のもつ無限の意味を読む人にお任せしてしまって、私は心のなかに或る人のことを思い浮かべた。

思い浮かべるだけしかできない人であるし、その人は帰り際に何か劇的な挨拶をしたかどうかさえも覚えてもないような、そんな遠い人であるのだが、私にとったらあのときの帰り際はかけがえのない一瞬であり、詰まらせてしまった言葉はもう二度と甦らせることのできない言葉だった。

人間というのは、...と考えて顎をさすりながら俯いてしまう。

如何なる言葉も失くしても、通い合うものを感じ合うことで、間違いなく勇気を持ち続けてその人を好きでいられる。そこには、確からしさが満ちてくるのだ。

と、そんなことを口ずさんでみても、自分の頭の中でぐるぐる廻るだけだ。

あのときは大切な言葉だった。しかし言葉は儚いもので、口に出さなければ終わりだが、出しても消えてしまう。大切に胸にしまったままならいつまでも輝き続けることができるのだろうか。

別れ際に私が言いそびれたひとことが「ありがとう」であろうと「大好き」であろうとそんなことは隠したままのほうがいい。

私は、そんなことを思いながら、泣き顔になっているのかもしれないが、決して、泣き出さないでいるのだ。何もなかったようにうそぶいている。

そんな自分に「大丈夫だ、がんばれ」と言ってやりたい。

| 2009-08-19 07:35 | 十七音(スピン・アウト) |

秋蝉が啼けば待ち遠し、新学期

秋蝉が啼けば待ち遠し、新学期

ひと粒の波紋が覚ます鳶の塀

青春時代は

鳶の絡まる図書館や

大きな講堂のあるキャンパスのなかを

意味も無い会話をしながら通り抜け

裏門の脇にあった汚い飲み屋でシマダ君と飲んだ思い出とか

下宿に帰って、夜明けまで飲んで、喋っていた記憶ばかり。

新学期になると、

また、仲間に会えるのが待ち遠しかったなあ。

---S君、アイツ、どうした？

---ああ、アイツなら旅に出てもう3ヶ月ほどになるよ。

30年以上過ぎた今は、

みんなが散り散りばらばらで、

何処の空の下、何をしてるのやら。

一見、自堕落で無駄に満ちていた時間を過ごしていたようだったが、

ほんとうは、何ひとつ無駄などがなかったのだ。

| 2009-08-22 18:46 | 十七音(スピン・アウト) |

日暮れどき、うふふと笑って諦める

日暮れ時、虹が出てたと知らせたくて
きのう散歩に出たら
虹が出てました。
きょう。

夕焼けが残っていた蝉の声
秋風吹いて、帰り道。楽しい
そんな感じで
駅から歩いてきた。
あなたに会えてれば
もっと
幸せだったのだろうな。
でも
会えなくても
平気。

高校生、補習かな、がんばれ
学校帰りの
高校生に
すれ違った。

夕焼けを並んで見つめた美術室
ふと
30数年前を思い出す。
校舎の窓からは
遠くに海も見えた。
ほんとうは美術室ではなく
音楽室だったかな。

どうして
君が好きなんだろう。

| 2009-08-24 21:31 | 十七音(スピン・アウト)|

人生は諦めることの繰り返し

いいことも悪いことも、筋書き通りには行かないし
同じことは二度とは繰り返されない。

又会えるでしょ、と思っても、会えないことも多い。

だからといって
人生が絶望的に儚いものだとは思わない。

何故だと思う？

何故だろうっていう疑問を持ち続けているからなのかもしれない。
答えを求めることは愚かなことよ。

人生は諦めることの繰り返し ねこ

--

つぶやく十七音 [あなたに、とどける] から

| 2009-08-26 08:05 | 十七音(スピン・アウト)|

チュ その2

タイトルは チュ

おバカさんそれだけ書いてメールする

| 2009-08-26 21:34 | 十七音(スピン・アウト)|

夏休み最後の日のツクツクボウシ

ただいまー
少し風がある。

夏休み最後の日のツクツクボウシ

なんてつぶやきながら
もうすぐ日が沈むよ。
帰ったら****さんにメール書こう。
ひこうき雲、見えんかなー
見えたとき、
****さーんとか叫んだら
青春やなー
なんて思っ
ちよっと、ポーっとして歩いてきた。
そしたら、家の近くまで来たら
西の空が真赤な夕焼けになっていた。
キミのおかげですよきっと、夕焼け空。
ありがとう。

(君の車みたいな鮮やかな色だったな、とか思ったりして)

選挙、終わったね。
なかなか、世の中、うまくいかんなあ。
書きたいことはいっぱいあるけど、
やめとくわ。

> とっぴんぱらりのぶう

ふふふふふ、また投げキッスがしたくなる

| 2009-08-30 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

2009 年(平成 21 年)十七音・スピニアウト (九月)

月はひとり、星は二人で見上げたい

秋か。
月がまん丸になってきてる。

月はひとり、星は二人で見上げたい

秋を語れば
お酒が幾らあっても
足りなくなる。

| 2009-09-01 21:04 | 十七音(スピン・アウト)|

君の道、ススキがひょいと澄ましてる

エレベーターの前の花台に
誰かが花を生けてくれているのですね。
それが誰かはわからないけど
僕はそれを楽しみにしています。

あなたが花に手を差し伸べていたときの姿がとても印象的です。

素敵過ぎて声を掛けられず柱の陰で見てたもんな。
(ちょっとウルツと)

あなたの道。
僕はあなたと何度もすれ違った廊下を
「あなたの道」と思ってみたかったですかね。

きょうも

今週になってススキが生けてあるのを
見ている

君の道、ススキがひょいと澄ましてる

と、ノートに書いた。

| 2009-09-02 20:58 | 十七音(スピン・アウト) |

露草やきのうの恋を呼び覚まし

露草やきのうの恋を呼び覚まし

朝、道ばたで
鮮やかな青い花を咲かせた
露草を見つけた。

やがて
農家の誰かに刈り取られてしまうのかもしれないが
私は
その、光り輝く雫を
しっかりと見た。

静かな
秋の朝の
一瞬のことだ。

| 2009-09-03 21:46 | 十七音(スピン・アウト)|

秋の月、影を引く君のうしろ姿

GREE で、P さんが書いたものに、十四音を続けてみた。

>月のあかるさが痛々し 破れたところ
そのうつむきが隠すいざよい

--

月は、十五夜お月さんが終わると日に日に小さく欠けてゆきます。欠けるというより、萎んでゆく。

◎ 十六夜。
いざよい。

欠ける月、いざ酔いしれて君想う

◎十七番目の月
立待。
たちまちの月という。

あなたは来ぬかと立って待つ。
まさにその心境ですね。

◎十八番目の月。
居待ちの月
いまちの月。

居て待つ。
やはり、月が出るのを待つ気持ちは、欠けてしまつてゆくものであろうとも、名残惜しい。

早く会いたい。

◎ 十九番目。
寝待の月。
ねまちの月。

寝床に横になって東の窓を開け放って空を見ると
まだまだ明るい月が出ています。

昔の人は、殆んどの家庭で間違いなく、明かりを消して見上げたことでしょう。テレビも
無く電気もない。書物もない。

◎ 二十日の月。
更待月

このあたりになるとやはり寂しさが隠せなくなる。
でも、また再び満ちてくるわ、と楽天的になるしかない。
もちろん、三日月になったら、それはそれで風流だ。

9月のころの月の高度は、50度程度です。
それが10月になると57度。
11月の満月のころは、70度を越えます。
真冬の月は85度まであがるので、殆んど真上にある感じです。

秋の月、影を引く君のうしろ姿

そんな風情が中秋のころにはありますね。

| 2009-09-07 07:35 | 十七音(スピン・アウト) |

親指が背中の嘘を炙り出す

またもや、Pさん@GREE から

> 嘘つきを人差し指で黙らせる

この頃、powさんの感覚というのが
目まぐるしく私に接近してきたのか

それとも
表現方法とか作風が、悪さっぽくなったのか

はたまた
前から持っていたツメを隠さず出しているのか。

言葉で遊んでみると

親指が背中の嘘を炙り出す

なんて書いてみたくなったわ。

| 2009-09-07 07:47 | 十七音(スピン・アウト) |

ほんとうはあなたが好きです、いわし雲

空を見てると
好きだといいたくなるよなあー

そんなこと
思っている間に
日が暮れる。

| 2009-09-08 21:26 | 十七音(スピン・アウト) |

ふと秋雨が恋しいの、きみ想う

ふと秋雨が恋しいの、きみ想う

秋雨という言葉が
ついこの間から
頭のなかに残っていて

いったい
私が雨を待っている気持ちは
なんなんだろうと
自分でもわからなくなっていた。

枯れていたのか。
いいえ
苛めたいのか。
いや、それも違う。

では、
と考え続けていた。

処女をなくした女が
酒の杯を手に
そこにいたら
私は狂喜してしまうかもしれない。

| 2009-09-09 21:21 | 十七音(スピン・アウト)|

分度器で貴方との距離を測ってる

分度器で貴方との距離を測ってる

うーん

(十七音コミュにも書きました)

4月15日に

補助線を引けばあなたが見えるかな

と書いた。
あの時は、行き詰って、思考が停止していた。

消しゴムを投げて届く君の席

今は、近くにあるんだけどなあ。

| 2009-09-13 19:23 | 十七音(スピン・アウト) |

指切りを思い出すたび彼岸花

お隣さんの庭の彼岸花が咲いた。

あの赤は、苦々しい。

指切りを思い出すたび彼岸花

そう手帳に書き留めた。

そのあとで、

指切りを思い出させる彼岸花

さよならを黙って見つめる彼岸花

またあした黙って見あげる彼岸花

など、派生三首で遊んでみた。

でも
やっぱし

私には、「指切り」がツンと来る。

言っておきますが、そんな実話は全然ない。
全てが、私の作ったドラマですから。

| 2009-09-14 19:00 | 十七音(スピン・アウト) |

ねえ少し痩せましたかと聞いてみる

2ヶ月ぶりに会ったら、真っ先に私は、
——髪が伸びましたね
と言い出そうと決めていた。

理由は無い。
ただ、そう言って、無造作そうなお洒落に食いついたかったのだ。

——痩せた？
——いいえ、太ったくらいです

私たちに話すネタなど何もない。

見つめるわけにもいかないが
眼が合えば、少し大きく呼吸をしてしまう。

ときどきニッコリ笑うのを待ちながら、何を愉しんでいるのだろう。
贅沢な時間が過ぎていった。



(熊野古道、馬越峠の麓。 [山帰来](#)にて)

| 2009-09-22 09:03 | 十七音(スピン・アウト) |

唇を見つめ続ける。遠ざかる

私は眩暈の中にいる。

ぐるぐる。

酔うたように眼が廻る中で
あなたのことを思い出そうとする。

小さく優しい眼。
震える唇。

眩暈の中で手を差し伸べる。

あなたは微笑む。
私は酔う。

目は廻り続ける。

あなたの唇も廻り続ける。

| 2009-09-23 22:28 | 十七音(スピン・アウト) |

土砂降りに棘ある花を生けている

土砂降りの、
私をなじるような音を聞いていたら
急にあなたが憎たしくなってきた

そんな気なんかこれぼっちもないのに
嫌いだよ、キミなんか♪
と、つぶやいてみる。

私の荒れている情熱が
うまく表現できないかと思って
ハサミを入れる。

--

土砂降りに棘ある花を生けている

| 2009-09-28 21:39 | 十七音(スピン・アウト) |

ボタンいじり、今夜も月は闇の中

雨がやむ、静けさ囁んでキミを見る

いいえ
ボクの前に
キミはいない。

じゃあ
静けさの中で
ボクが見たものは
何？

ボタンいじり、今夜も月は闇の中

| 2009-09-29 20:54 | 十七音(スピン・アウト) |

さようなら、僕の九月と君の九月

雨の朝、あなたの手紙を読み返す

さようなら、僕の九月と君の九月

今は
言葉は
少なめに。

| 2009-09-30 07:50 | 十七音(スピン・アウト)|

2009 年(平成 21 年)十七音・スピニアウト (十月)

(なし)

2009 年(平成 21 年)十七音・スピニアウト (11 月)-(12 月)

訳もなくあなた恋しい時雨月

いやね、仕事帰りに
時雨に降られて
満月が出ているのに。

別に、あの人とケンカしたわけじゃないですし
キライになったわけでもないですが
月を見ると、あの人を思い出すのですよ。

でもね。
満月ですよ、今夜は。
なのに
時雨れてきやがる。

コタツださなあかな、って独り言、つぶやいてしまったわ。

| 2009-11-02 22:39 | 十七音(スピン・アウト) |

夜が更けて何だかおやすみ言いたくて

チューしていい？
アカンか！

寝ます
おやすみ

| 2009-11-08 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

遠くから少しだけそう少しだけ

どうしても、私はブーツのあの人の姿を想像できなくて。
それは、きっとあの人にはブーツが似合わないんだという想いがあるからだと思うのです。

お洒落で、少し跳んでるあの人のファッションが好きなくせに、どうしてもブーツを履かせたくないんだな。

ハイヒールが嫌いな私。
冷たい音をコツコツと残して去って行く踵の高い靴が嫌いなの。
だからブーツもキライなのかもしれない。

でもミニスカートにコートを羽織り颯爽と坂道を歩いてくる女性の姿を見るとドキッとしてしまう。

まちあかり濡れるブーツの石畳

冷たい雨でしたね。
あなたの傘は何色だったっけ。

遠くで、人ごみのなかのあなたの傘の色を探している。
ほんと、冷たい雨。

| 2009-11-11 22:29 | 十七音(スピン・アウト) |

うしろ姿、送って私は猫になる

きょうね、帰りがけにある人と

「さようなら」

って言葉を交わしたの。

そう、いつものあの人。

後ろ姿を見送って、

ああ、もう少し話したかったな、

って思うけど、

それは欲張りというもの。

さあ、私は猫になって、にやーと泣くのだ。

| 2009-11-24 22:13 | 十七音(スピン・アウト)|

迷路

雨音や不規則鼓動の恋煩い
おやすみを電波にかえて飛ばしたい
雨だれがずっと消えていくため息

この気持ち
届いているのは
知ってるの
雨に流して
夜もふけゆく

--

出られない迷路。

| 2009-11-25 22:13 | 十七音(スピン・アウト) |

満月を見上げながらまたあなたを

おとうさん、昨日の夜、すごく満足にお酒飲んで楽しそうに帰ってきたんやで。

「きょうは○子さんといっぱい話したわ。

原因は失恋か、何かわからんけど、今は元気になってきたなあー。

辛そうにしてるとかわいそうやったけど、良かったわあー。

よかったなーってぎゅーってしてやりたいなー」

といいながら、ルンルンやったよ！

と教えてくれました。

人間が正直なんですかね。

バレバレみたい。

だいぶん、顔をパチパチやられたらしいけど

「許したろー」

って感じだったそうです。

私のお酒は

いいお酒。

なんだそうです。

満月を見上げながらまたあなたを思い出している

そんな夜です。

| 2009-12-01 22:20 | 十七音(スピン・アウト)|

テーマは、[月]

こうやっていつも月を探している私

ほんとうはあなたに届けたい満月の

後ろ姿、じっと見てても声をかけれない

初霜が降りるころまで寂しかろ

こんなことを書いていたら会いたくなってきた

今日はこれでオシマイ。

| 2009-12-03 19:34 | 十七音(スピン・アウト)|

木枯らしやキミの嫌いな 12 月

寒がりさん。
今頃何してるの？

--

(夢)

第九。聴きたい。
大晦日、炎のコバケン(小林研一郎)さん
ぶっ通しベートーベン交響曲全曲演奏。

いいなあ。
もしも行けたら泣きまくりやな。
いっぱいハンカチ持っていかなあかんわ。

| 2009-12-06 17:49 | 十七音(スピン・アウト) |